米市

市民の皆さまへ決算のごあいさつ

のとおりとなっています。

平成17年度は、国の「三位

西条市長

伊藤宏太郎

らせします。 がまとまりましたので、 平成17年度の西条市の決算 お知

事業に充てるための財源1億 このうち翌年度へ繰り越した 余(余り)となっています。 し引き16億9143万円の剰 408億7427万円で、 425億6570万円、 般会計の決算額は、 歳出

字となっています。 165万円を除いた実質収支 概要は、 各特別会計の決算状況やそ 15億8978万円の黒 別記(4ページ) します。

ることができました。 りに向けた各種事業を実施す 業の振興など新しいまちづく 策の強化、福祉の充実、子育 体感を醸成する施策や防災対 スの平準化と市民の融和・ したが、 負担金の減額など、 て支援、都市基盤の整備、 しい財政環境の中ではありま 体の改革」に伴う国庫補助 今後とも、効率的な行財政 合併後の市民サービ 非常に厳

ご理解とご協力をお願い まいりますので、なお一 展に向け積極的に取り組んで とともに、新市の均衡ある発 形成につながる「ひとづくり」 運営に心がけ、「市民力」の 「しくみづくり」を推進する 層の

決算とは

予算とは、1年間の収入(歳入)と支出(歳出)に関する見 積りをまとめた「計画」のことです。決算とは、実際の収支を まとめた「実績」に当たります。

市の会計は3種類

福祉や教育、道路整備など、市政運営の基本 となる会計です。

国民健康保険や介護保険など、一般会計と区 分する必要がある特定事業の会計です。

企業経営という観点から、独立して経理する 会計です。

※本文中の金額は、1万円未満を四捨五入しています。 市民1人当たりの計算は、平成18年3月31日現在の人口(115,913人)を元にしています。

平成17年度の主な事業



地域防災計画 策定事業



まちづくり基盤 整備事業

整備事業

道路改良事業

平成17年度一般会計 決算額

441億9, 183万円 予算額

425億6,570万円

歳 出 408億7,427万円 ●歳入歳出差引額(歳入−歳出)

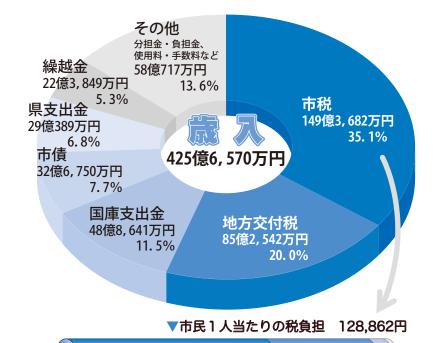
16億9, 143万円…A

●平成18年度へ繰り越すべき財源

1億 165万円…B

●実質収支額(A-B)

15億8,978万円



■市税:市民税や固定資産税など、市民の皆さん に納めていただいたお金です。

■地方交付税:市の財政状況に応じて国から交付 されたお金です。

■国庫支出金:特定の事業を行うために国から交 付された負担金、補助金などのお金です。

■市債:特定の事業を行うために、国などから借 り入れたお金です。

■県支出金:特定の事業を行うために、県から交 付された負担金・補助金などのお金です。

繰越金:前年度から持ち越された剰余金のこと を言います。事業を持ち越すことで必要にな ったお金も含みます。

■分担金・負担金:市の事業で特定の利益を受け た人に負担していただいたお金です。

使用料・手数料:市の施設の使用や、住民票の 交付など、特定の行政サービスを受けた人に 負担していただいたお金です。

総務費

60億7,930万円

14.9%

市たばこ税 6,182円(4.8%)

市民税

41,094円(31.9%)

■民生費:社会福祉や医療助成など、安定した社 会生活を保障するために使ったお金です。 ■総務費:市庁舎の維持管理や戸籍、徴税、選挙、

固定資産税

79,487円(61.7%)

監査事務など市の総括的な事務に使ったお金 です。

■土木費:道路、河川、公園、市営住宅などの整 備や維持管理に使ったお金です。

■公債費:国などから借入れたお金(市債)の返済 などに使ったお金です。

教育費:幼稚園や小中学校、社会教育や保健体 育など、教育各般に使ったお金です。

■衛生費:健康診断や各種検診、ごみ処理など、 健康で衛生的な生活環境を保つために使った お金です。

■災害復旧費:災害によって道路や農地、山林な どに生じた被害を復旧するために使ったお金 です。

■農林水産業費:農業、林業、水産業の振興に使 ったお金です。

消防費:消防や救急活動に使ったお金です。 議会費:議会の運営などに使ったお金です。 **商工費**: 商工業の振興や観光の振興などに使っ たお金です。

その他 農林水産業費、消防費 議会費、商工費など 災害復旧費 43億8,092万円 民生費 25億9,496万円 10.7% 117億51万円 6.3% 衛牛費 28.6% 27億773万円 6.6% 教育費 408億7,427万円 32億1,319万円

その他(軽自動車税・入湯税) 2,099円(1.6%)

7.9%

公債費 50億5,899万円 土木費 12.4% 51億3,867万円 12.6%

市民1人当たりに使われたお金 352,629円

市の運営に 福祉の充実に 28.6% 14.9%

その他 37,795円 10.7%

災害の復旧に

22,387円(6.3%)

道路・公園等の整備 44,332円(12.6%)

市の借金返済に 43,645円(12.4%)

教育・文化に 27,721円 (7.9%)

健康づくり・きれいなまちに 23,360円(6.6%)

平成17年度特別会計 決算額

会 計 区 分	予 算 額	歳 入	歳出	差引(歳入-歳出)
国民健康保険	113億6,250万円	113億6,924万円	110億 37万円	3億6,887万円
老人保健	142億1,865万円	134億9,688万円	134億9,688万円	0 円
介護保険	81億3,311万円	79億8,449万円	78億 830万円	1億7,619万円
うち介護保険事業勘定	78億1,150万円	76億1,594万円	74億9,657万円	1億1,937万円
うち介護サービス事業勘定	3億2,161万円	3億6,855万円	3億1,173万円	5,682万円
簡易水道事業	2億9,883万円	2億7,286万円	1億5,869万円	1億1,417万円
公共下水道事業	46億6,522万円	43億8,758万円	43億8,028万円	730万円
小規模下水道事業	7,005万円	6,425万円	6,425万円	0 円
港湾上屋事業	671万円	668万円	652万円	16万円
ひうち地域振興整備事業	1億8,853万円	1億7,369万円	1億7,369万円	0 円
土地開発事業	86万円	29万円	29万円	0 円
小松地域交流事業	1億2,410万円	1億1,265万円	1億1,265万円	0 円
本谷温泉事業	9,126万円	8,354万円	8,245万円	109万円
住宅新築資金等貸付事業	4,828万円	4,532万円	4,532万円	0 円
畑地かん水事業	3,881万円	2,891万円	1,739万円	1,152万円
庄内財産区	1, 187万円	368万円	332万円	36万円
壬生川財産区	605万円	603万円	484万円	119万円
合 計	392億6, 483万円	380億3,609万円	373億5,524万円	6億8,085万円

平成17年度企業会計 決算額

水道事業会計

収入(収益) 8億 76万円 支出(費用) 7億 988万円 差引(収入-支出) 9,088万円 企業債の現在高 61億6,027万円

病院事業会計

収入(収益) 38億4,073万円 支出(費用) 40億2,511万円 差引 (収入-支出) △ 1億8,438万円 企業債の現在高 32億8,978万円

市の借金(市債現在高)

会計区分	市債現在高	
一般会計	478億6,088万円	
特別会計	262億5,684万円	
介護保険	2億8, 263万円	
うち介護保険事業勘定	2億 533万円	
うち介護サービス事業勘定	7,730万円	
簡易水道事業	10億4,719万円	
公共下水道事業	236億 686万円	
小規模下水道事業	1億8,274万円	
ひうち地域振興整備事業	10億1,054万円	
住宅新築資金等貸付事業	1億2,688万円	
合計	741億1,772万円	

市の財産(市有物件)

土地 3,454万6,147 平方メートル 建物 51万3,836 平方メートル 基金 76億7,345 万円 有価証券 1,774 万円 出資金 1,953 万円 債権 6億7,935 万円

決算報告の詳しいお問い合わせは

市庁舎本館 財政課 TEL0897-56-5151 財政第2係 内線2255